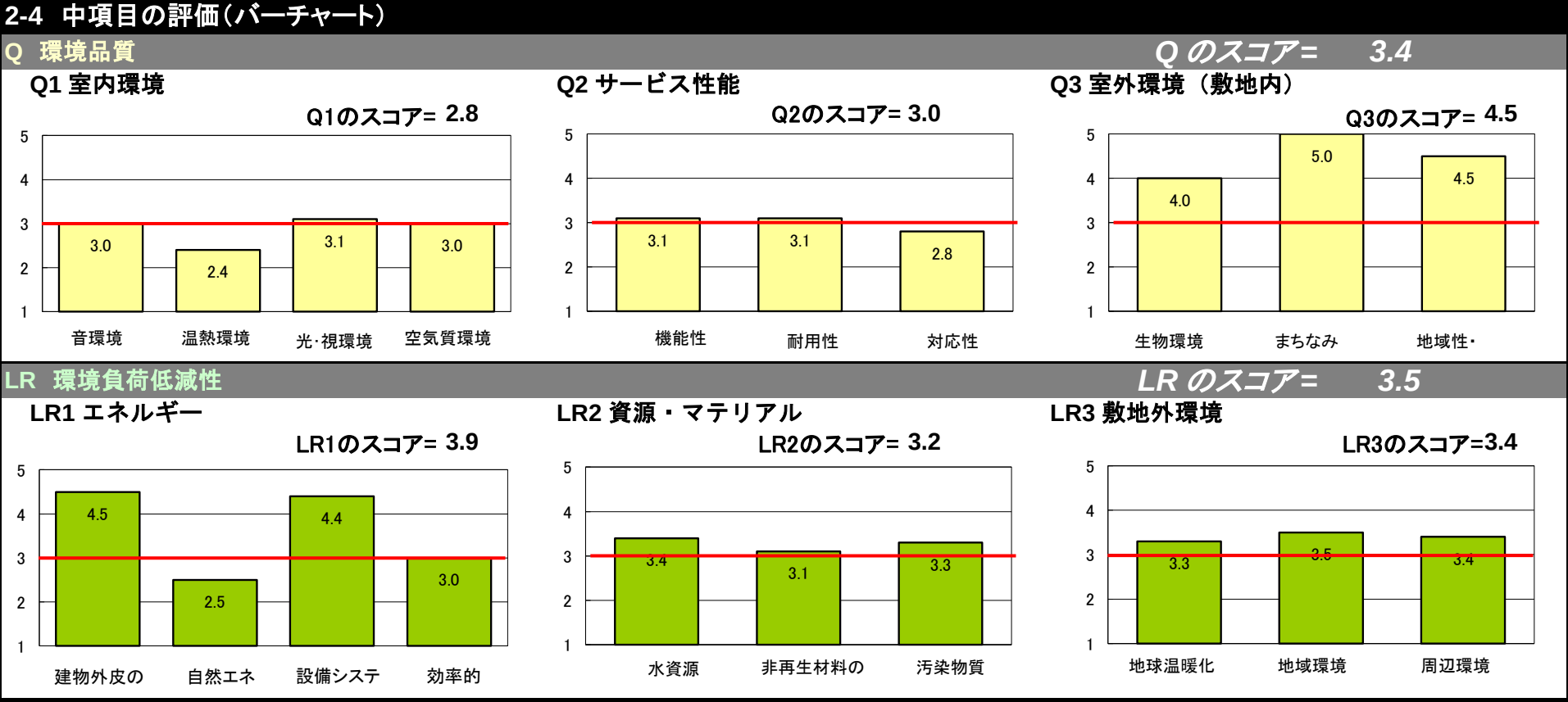
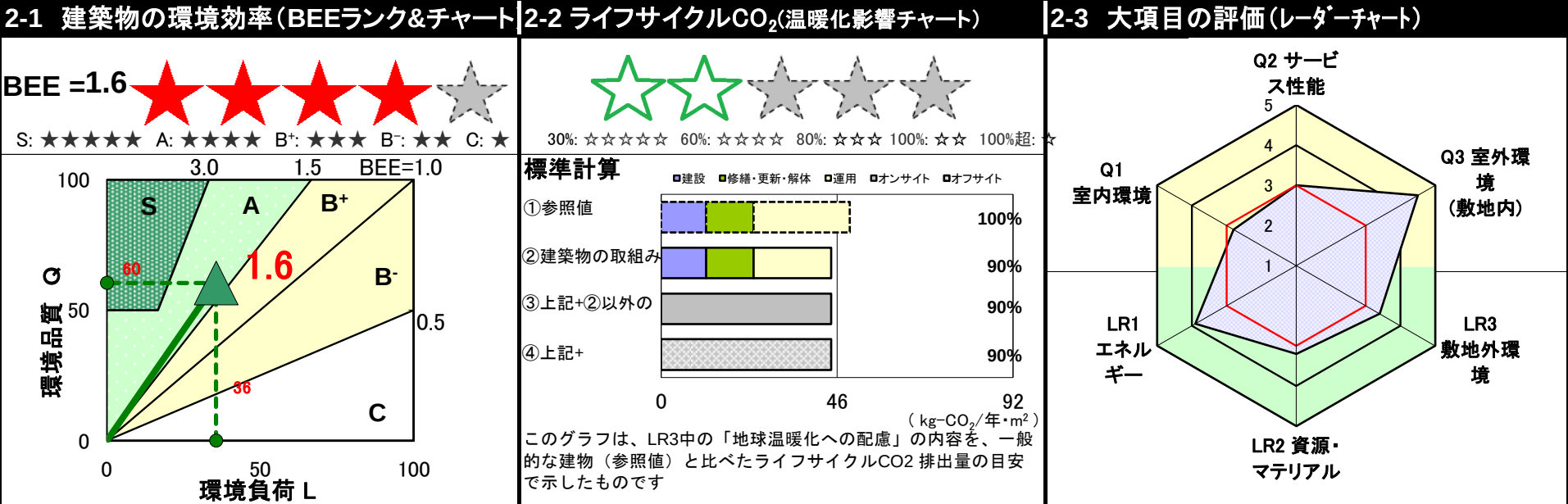


評価結果



1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	ノートルダム清心中・高等学校 講堂	階数		
建設地	広島県広島市西区	構造		
用途地域	第1種中高層住居専用地域、第1種	平均居住人員		
気候区分	6地域	年間使用時間		
建物用途	学校	評価の段階		
竣工年	2019年8月 予定	評価の実施日		
敷地面積	37,614 m ²	作成者		
建築面積	2,134 m ²	確認日		
延床面積	5,092 m ²	確認者		



3 広島市の重点項目		
重点項目の総平均スコア= 3.5		
「地球温暖化対策」の推進 スコア= 3.5	「ヒートアイランド対策」の推進 スコア= 3.7	「長寿命化対策」の推進 スコア= 3.1
設計の計画に特段に配慮した事項 屋根および壁面の断熱により熱負荷を抑制 / 教室の自然採光を確保しているが、1面からの採光のみである / LED照明、全熱交換器の採用 / 運用管理体制を整備 / 衛生配管は耐久性に配慮した管材を選定 / 建物の長寿命化によりCO ₂ の排出を抑制	設計の計画に特段に配慮した事項 既設緑地を保全するとともに、建物周囲を緑化 / 敷地内通路を長くとり、駐車場までの滞留場所を敷地内で確保	設計の計画に特段に配慮した事項 耐久性に実績のある材料を使用することを基本とした。また、更新性やメンテナンス性に優れた建築計画とした。 / P SやE P Sおよび設備ビットを設け、設備の更新性に配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される